

診用紙を見てみると、「むし歯」だとか「歯槽膿漏（しそうのうろう）」をしつかりチェックするようになっていきます。これには少し違和感があります。学校検診や会社検診では問題ありませんが、高齢者の歯槽膿漏？歯槽膿漏をチェックしなければならぬのは40〜50歳代でそれ以降の方は：・

実はむし歯や歯槽膿漏というのは発症する時期がある程度決まっています（もちろん個人差あり）。進行性むし歯であれば20歳くらいまで、慢性的ないしは二次的なむし歯で痛



みがともなうようなもの50歳くらいまで、それ以降のむし歯は痛みが生じません。歯槽膿漏の

ピークは50歳代、それ以降の方は：・歯が抜けています。

高齢者のお口のチェックをするとき、歯が残っている方であれば歯槽膿漏ではなかった、抜けてなくなっていれば歯槽膿漏だったかもしれない、だけなんです。

先日、お元気な80歳代の女性が診療室にられました。ご自分の歯もしっかりしている方でしたが、「最近、歯槽膿漏になったんじゃないかと思うんです。」とおっしゃいました。そこですかさずこうお伝えしました。「間違いなく違います！」もちろん「そんなに若くはありませんから」とは言いませんでした。

夏休み

皆さんの夏休みは終わられましたか？ 私たちの今年の夏休みは少し

変則的に、二回に分けてとらせていただいています。8月は広島島の研修会参加をかねて帰省しました。恒例の広島

風お好み焼きもたらふく食べてきました。ちなみに父親の歯の訪問診療もしてきました！

今月は長崎・ハウステンボスで学会があるのでそれに付け加えて夏休み第二弾を頂こうと思います。実は母親が長崎、佐世保の出身で、母方の親戚にも会う予定です。

休み中、皆様にはご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、よろしく願いいたします。休診日は次の日程です。

9月16日（土）午後〜19日（火）

